

## 【実践② 論理・表現Ⅰ 領域：話すこと [やり取り]】

### 1 日時・実施場所

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇限 (〇〇 : 〇〇 ~ 〇〇 : 〇〇) ・ 〇〇教室

### 2 学 級

〇〇科 第1学年〇組 (〇名)

※少人数授業 (1クラス2展開)

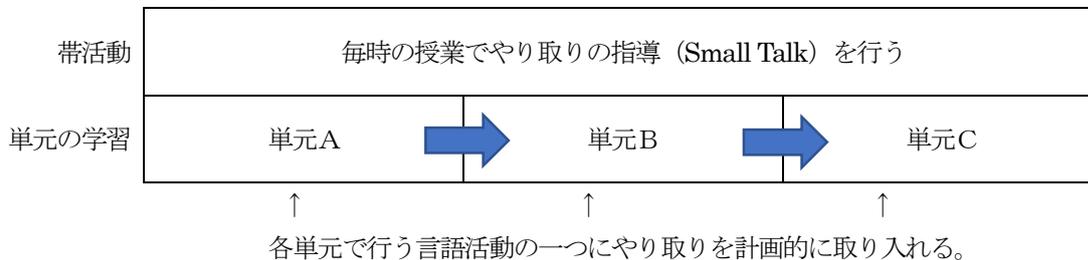
### 3 学級観と話すこと (やり取り) の指導方針

複数の単元を通して、長期的な視野で生徒の  
資質・能力の向上を図る工夫をしています。

素直でまじめな生徒が多い。表現活動に前向きに取り組もうとする姿勢は見られるが、語彙や表現が不足しているため、話された英語を正確に理解することや、特に即興性のあるやり取りにおいて課題が残る。

そこで、①毎時の授業で、即興性のあるやり取りを継続的に行うこと、②各単元で行う言語活動の一つとして、単元の内容に対する自分の意見を話して伝え合う活動 (やり取り) を取り入れること、③生徒同士のやり取りに対してフィードバックを与えること、これら三つの手だてを通じて生徒にやり取りの「型」を身に付けさせるとともに発話の量と質を向上させる。

※ 指導方針①及び②のイメージ図



### 4 帯活動の目標

本校のCAN-DOリストを反映して設定しています。  
単元を通して指導する技能 (パフォーマンス) を記しています。

- 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いながら、質問したり応答したりすることができる。
- 相手の発話に対して、確認をしたり相づちを打ったりしながら、もしくは、つなぎ言葉を用いながら、会話を継続することができる。

### 5 単元の目標

本校のCAN-DOリストと関連させて設定しています。

- 日本文化に関わりが強いおみやげについて、to 不定詞などの言語材料を活用して説明することができる。
- 留学先に持っていきたいおみやげについて、自分の考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合うことができる。

### 6 関連する領域別目標 (学年のCAN-DO)

話すこと [やり取り]	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な話題について、基本的な語句や文を用いながら、質問したり応答したりすることができる。</li> <li>相手の発話に対して、確認をしたり相づちを打ったりしながら、もしくは、つなぎ言葉を用いながら、会話を継続することができる。</li> </ul>
話すこと [発表]	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞いたり読んだりしたことについて、基本的な語彙や文を用いて自分の意見やその理由を話して伝えることができる。</li> <li>日常的な話題や関心のある事柄について、複数の文を用いて、話して伝えることができる。</li> </ul>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞いたり読んだりしたことについて、基本的な語彙や文を用いて自分の意見やその理由を書いて伝えることができる。</li> <li>日常的な話題や関心のある事柄について、複数の文を用いて、書いて伝えることができる。</li> </ul>

### 7 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報や考えを伝えるために必要となる語彙や文におけるイントネーション等を理解して</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように、留学に持参するおみやげについ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように、与えられた話題について、相手と適切</li> </ul>

	いる。 ・留学に持参するおみやげについて、情報や考えを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	て、相手と適切にやり取りし合っている。	にやり取りし合おうとしている。
話すこと [発表]	・情報や考えを伝えるために必要となる語彙や文におけるイントネーション等を理解している。 ・留学に持参するおみやげについて、使用する場面や目的などを話して伝える技能を身に付けている。	自分の意見を聞き手によりよく理解してもらえるように、留学に持参するおみやげについて、使用する場面や目的などを詳しく話して伝えている。	自分の意見を聞き手によりよく理解してもらえるように、留学に持参するおみやげについて、使用する場面や目的などを詳しく話して伝えようとしている。
書くこと	・情報や考えを伝えるために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。 ・留学に持参するおみやげについて、自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して詳しく書く技能を身に付けている。	自分の意見を読み手によりよく理解してもらえるように、留学に持参するおみやげについて、使用する場面や目的などを詳しく書いて伝えている。	自分の意見を読み手によりよく理解してもらえるように、留学に持参するおみやげについて、使用する場面や目的などを詳しく書いて伝えようとしている。

## 8 パフォーマンステスト

### (1) 領域

話すこと [やり取り]

### (2) 場所

別室

### (3) 内容

単元ごとにパフォーマンステストを行う場合は、単元の目標と関連した内容にすることも考えられます。

指定された日常的な話題について、自分の意見を理由等と共に伝えたり、相手に質問したりして、やり取りをする。

### (4) 準備物

タイマー、質問が書かれた五枚のカード、実施方法や採点の基準等の資料、採点用紙、ICレコーダー

### (5) 実施時間等

- ・一人当たり2分程度
- ・1クラス(40人)当たり2単位時間(100分)程度での実施を想定

### (6) 方法

<事前の準備>

評価規準等を事前に教師間で共有することで、スムーズにパフォーマンスを実施できるようになります。

- ・同じ科目を担当する教員と採点方法を確認する。必要に応じて採点のシミュレーションを行う。
- ・長い沈黙がある場合等の対処法を決める。
- ・テストの内容と採点の基準を確認し、生徒と共有する。

評価規準等を事前に生徒に示すことで、生徒が主体的に活動できるようになります。

<テスト当日の流れ>

- ・テストを受ける順番はテストの当日に発表する。
- ・生徒は一人ずつテストを受ける。それ以外の生徒は教室で待つ。
- ・話すことが書かれた五枚のカードを裏返しにして、生徒に一枚選ばせる。
- ・やり取りのテストになるように、生徒が1～2文話したところで内容について質問をする。

<生徒への指示>

あなたは日常的な話題について先生と会話をします。先生が示すカードから一枚選び、そのカードに書いてあることについて、あなたから先生に質問することで会話を始めてください。また、先生からの質問にも答えてください。考える時間は20秒、会話の時間は60秒です。

<カードに書かれた質問>

- Which is your favorite season?
- What is your favorite movie?
- What is the best place in your town?
- What is the most interesting subject?
- What Japanese food do you like the best?

<採点>

教員は採点表【資料1】を用いてその場で採点を行う。録音した音声を基に採点することもできる。

(7) 採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 幅広い語彙や表現を適切に使用している。</li> <li>• 聞き手に分かりやすい音声表現で話している。</li> </ul>	相手の質問に適切に応じた上で、関連する情報や自分の考え、気持ちを詳しく話している。	相手とやり取りを継続させようとする積極的な姿勢が見られる。
b	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使用している。</li> <li>• 理解に支障のない程度の音声表現で話している。</li> </ul>	相手の質問に適切に応じて話している。	相手とやり取りをしようとする姿勢が見られる。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

「十分満足できる」状況と判断されるもの：a

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの：b

「努力を要する」状況と判断されるもの：c

(8) フィードバック

- 生徒に採点結果を示す。その際、「〇〇ができています」「今後〇〇できるようになるとよい」という肯定的な表現を含めるなど、生徒の今後の目標や学習の改善につながるように声掛けをする。
- 生徒は振り返りシート【資料2】などを活用して、自らの学習状況を把握し、目標達成に向けて今後の課題を明確化させる。

9 単元の指導計画 ※網掛けは記録に残す評価の場面

時間	ねらい (■), 言語活動等 (丸数字)	内容のまとめり			備考
		や	発	書	
1 2	<p>■単元の話題 (留学先へのおみやげの選択) に対する生徒の興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。</p> <p>■to 不定詞の形容詞的用法及び副詞的用法の言語機能について体験的に学ぶ。</p> <p>①指定された日本文化に関わるおみやげについて、英語で適切に説明して、相手に伝える。</p>		○		<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【思】事物を的確に描写しているか。</p> <p>【態】積極的に伝えようとしているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p>

	②初対面のホストファミリーに日本から持参したおみやげを紹介するスキットを演じる。		○		
3 ※ 本時の 授業	<p>■ホストファミリーにとってふさわしいおみやげを選ぶことについて、自分の意見を理由と共に伝える。</p> <p>①与えられた条件にふさわしいと思われるおみやげを選ぶ。</p> <p>②ペアになって、自分の意見と理由を話して伝え合う。</p> <p>③自分の意見と理由を書いて伝える（下書き）。</p>	○		○	<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【思】自分の意見を適切な理由とともに伝えているか。</p> <p>【態】積極的に自分の意見を伝えようとしているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p>
4	<p>■ホストファミリーにとってふさわしいおみやげを選ぶことについて、自分の意見を理由と共に伝える。</p> <p>①教員からのフィードバックを踏まえて、自分の意見と理由を書いて伝える（浄書）。</p> <p>②ペアになって、自分の意見と理由を話して伝え合う。</p>	○		○	<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【思】自分の意見を適切な理由とともに伝えているか。</p> <p>【態】積極的に自分の意見を伝えようとしているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p>
5 6	■to 不定詞の形容詞的用法及び副詞的用法について、理解と習熟を深める。				【知】適切な語句・表現を使用しているか。
後日	パフォーマンステスト	知 思 態		知 思 態	※話すこと（やり取り）について、採点の基準等は「8 パフォーマンステスト」を参照。

## 10 本時の目標

- (1) 日本から持参するおみやげについて、自分の意見を、理由とともに、伝えることができる。
- (2) 相手の意見や理由に対して、自分の意見や感想を述べることができる。

## 11 本時の展開（3／6時間）

時間	指導過程	生徒の学習活動	指導上の留意点・支援等
15分	Small Talk (帯活動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・任意の日常的な話題について、配付されたカード【資料3】の中から一つを選び、ペアでやり取りを行う。</li> <li>・やり取りを豊かにする表現（rejoinders, fillers 等）を体験的に学ぶ。</li> <li>・教員からのフィードバックや辞書で調べたことなどをノートに記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やり取りの前に準備の時間を与え、ある程度まとまった内容を話せるようにする。</li> <li>・教室前方にやり取りの流れを示したスライド【資料5-1】を映す。</li> <li>・途中で振り返りの時間を与え、言えなかった表現などをペアやクラスで共有させる。教員は適切に助言を与え、その後生徒同士で再びやり取りをさせる。</li> </ul>
5分	Opinion-Reason Telling (導入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動の目的、場面、状況について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室前方に理解の一助となるスライドを映す。</li> </ul>

5分	Opinion-Reason Telling (準備)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート【資料4】を配付する。</li> <li>・与えられた条件にふさわしいと思われるおみやげを一つ選ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要があれば辞書の使用を促す。</li> </ul>
10分	Opinion-Reason Telling (意見交換)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を理由とともに相手に話して伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室前方にやり取りの流れを示したスライド【資料5-2】を映すなどの支援を行う。</li> <li>・ペアを替えて複数回行うことで、自分の意見等を伝え合う練習の場とする。</li> <li>・机間指導を行う。必要に応じて全体指導を行う。</li> </ul>
10分	Report Writing	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を理由とともに書いて伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の成果物を回収して、言語使用についての改善点を次回の授業で提示する。</li> </ul>
5分	Consolidation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の授業の要点を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の授業の見通しを共有する。</li> </ul>

## 12 御高評

【資料1】パフォーマンステスト「話すこと」(やり取り) 採点表(例)

(1) 1回目の回答(思考・判断・表現)

a	質問に対して、適切な内容を詳しく回答している。	5
b	質問に対して、適切な内容を簡潔に回答している。	3
c	質問に対して、回答はしているが「b」に満たない。	1
d	質問に対して、回答がない。	0

(2) 2回目の回答(思考・判断・表現)

a	質問に対して、適切な内容を詳しく回答している。	5
b	質問に対して、適切な内容を簡潔に回答している。	3
c	質問に対して、回答はしているが「b」に満たない。	1
d	質問に対して、回答がない。	0

(3) 音声表現(知識・技能)

a	全体的に聞き手に分かりやすい音声表現で話している。	5
b	全体的に理解に支障のない程度の音声表現で話している。	3
c	「b」に満たない。	1
d	質問に対して、回答がない。	0

(4) その他(主体的に学習に取り組む態度)

a	自主的に質問するなど、やり取りへの積極的な姿勢が見られる。	5
b	相づちを打つなど、やり取りへの前向きな姿勢が見られる。	3
c	「b」に満たない。	1
d	質問に対して、回答がない。	0

Class	No.	Name	合計 点
-------	-----	------	---------

【資料2】振り返りシート（例）

「話すこと（やり取り）」のスピーキングテストを振り返ろう

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い語彙や表現を適切に使用している。</li> <li>聞き手に分かりやすい音声表現で話している。</li> </ul>	相手の質問に適切に応じた上で、関連する情報や自分の考え、気持ちを詳しく話している。	相手とやり取りを継続させようとする積極的な姿勢が見られる。
b	<ul style="list-style-type: none"> <li>多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使用している。</li> <li>理解に支障のない程度の音声表現で話している。</li> </ul>	相手の質問に適切に応じて話している。	相手とやり取りをしようとする姿勢が見られる。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

今回のスピーキングテストを振り返って記入してください。

上手にできたと思うこと
上手にできなかったと思うこと
上手にできるようになるために今後取り組んでいきたいこと
その他の感想

Date	Class	No.	Name
------	-------	-----	------

**Direction: Choose one question to ask your partner.**

**Q1. Are you interested in manga?**

**Q2. Do you like winter sports?**

**Q3. Do you want to go abroad?**

**Q4. What do you do in your free time?**

**Q5. What did you do last night?**

**Q6. Which is your favorite season?**

**Q7. What is your favorite movie?**

**Q8. What is the best place in your town?**

**Q9. What is the most interesting subject?**

**Q10. What Japanese food do you like the best?**

**【資料4】 Opinion-Reason Telling** で生徒に配付するワークシート（例）

Direction: Read the passage below to understand the situation.

The picture on the right describes the situation where a girl from Japan is visiting the host family in a foreign country. Imagine you are going to visit a host family like this girl. The family members are interested in Japanese culture, so you would bring something related to it, and give it to them as a souvenir.



Question: Which souvenir below would you bring from Japan?



Points to Check: Read the sentences below to think deeply.

- ① The family members are a father, a mother, and a five-year-old daughter.
- ② You cannot bring all the souvenirs so as not to make much baggage.
- ③ The family helps you a lot during the stay; cooking dishes, cleaning your room, washing your clothes, and more. You need to choose the souvenir they would like.

Your Answer:

I would bring ( ) because \_\_\_\_\_

-----  
-----  
-----

Date	Class	No.	Name
------	-------	-----	------

【資料5】前方のスクリーンに投影するやり取りの流れ（例）

### 1 Small Talk

- A1:** 質問をする。 ←
- B1:** 2文以上で答える。  
+ **How about you?**
- A2:** 2文以上で答える。
- B2:** **I see. / That's ...! / Really!? etc.**  
+ ①か②のどちらかを選ぶ。  
① 自分のことを話す。 or 関連した質問をする。  
② **Can you change a topic?** \_\_\_\_\_

### 2 Opinion-Gap Telling

- A1:** **Which souvenir did you choose?**
- B1:** **I chose** おみやげの名前。
- A2:** **Why did you choose it?**
- B2:** 選んだ理由を2文以上で説明する。
- A3:** 相手の発言を確認する。  
+ **Good! / I understand. / Thank you.**  
+ 自分の意見も話して伝える。

## 生徒の「やり取り」に対するフィードバックについて

### ■ 「やり取り」の言語活動でフィードバックを与える際の問題点

- 🙄 内容の伝達に意識が向くため、語彙や文法の正確さ・適切さには十分な注意が払われない傾向がある
- 🙄 話したい内容があっても英語で表現する方法が分からない場合は、その内容を表現しないことがある
- 🙄 話し手が常に交代するので、活動中に教師がフィードバックを与えづらい
- 🙄 音声は形に残らないので、活動後も教師がフィードバックを与えづらい

### ■ 「やり取り」の言語活動にフィードバックを与えるためのアイデア

- 💡 「やり取り」をした後で生徒に「やり取り」した内容について英語で書いてまとめさせる
  - ➡ 書いたものにフィードバックを行うことができる
  - ➡ 「話すこと」と「書くこと」の技能を統合することができる。
- 💡 「やり取り」そのものを書いて行わせる（written interaction）
  - ➡ オンライン掲示板サイトやアプリを活用すれば、生徒のやり取りにリアルタイムでフィードバックを与えられる
  - ➡ 他の生徒の参考になりそうな点を指摘して、共有することで、クラス全体の言語活動の改善を図ることができる

### 【図：オンライン掲示板サイトを活用した written interaction】

“What is the best place in your town?” という問いに生徒が応答したり、他の生徒の応答にコメントしたりしている

